



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary International District 2800 2017-2018

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER vol.4

地区目標 美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

ガバナー月信 第4号

CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- 各種セミナー・委員会報告
- ロータリー財団コーナー
公共イメージ推進コーナー
- 青少年奉仕コーナー
山形東RC創立30周年記念
式典報告
- 青少年交換学生月次報告
- ガバナー公式訪問
- 米山奨学生レター
米山奨学委員レポート
- ローターアクトのコーナー
インターアクトのコーナー
- 出席率
ロータリー情報のコーナー
- 新入会員紹介
表彰関係
- 10月のスケジュール

10

寒河江まつり (第35回神輿の祭典) の様子



国際ロータリー第2800地区
2017▶2018年度

- ◇ガバナー/鈴木一作
- ◇R.I.会長/イアン H.S. ライズリー
- ◇R.I.理事/斎藤直美、石黒慶一



親愛なる会長・幹事・ロータリアンの皆様へ

2017-18年度 国際ロータリー第2800地区
ガバナー 鈴木 一作

RIテーマ

ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)

地区目標

美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～

10月は「経済と地域社会の発展月間」、そして「米山月間」であり、かつ「ロータリー学友参加推進週間」があります。

◆経済と地域社会の発展月間

2014年10月、RI理事会は毎年10月を「経済と地域社会の発展月間」としました。具体的には、①起業家と地域社会のリーダー育成、②自立に役立つスキル指導、③家計を支えるための就職支援、④生産性の高い仕事の創出、⑤支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、⑥経済と地域社会の発展に関連した仕事を目指す専門職業人の奨学金支援などを強調する月間で、いずれも世界の貧困地域における経済発展を目的としたものです。

◆人に投資する

世界では、毎日25,000人が飢餓や感染症で亡くなり、また1日1ドル未満で暮らさなければならない人が14億人近くいると言われてしています。ロータリーは、こうした人々に生産性の高い仕事を提供し、経済と地域社会の発展を目指すため、「人」に投資し、特に女性をはじめ地元起業家や地域リーダーの育成を支援しています。

◆グローバル補助金の活用

我々は、そのためのプロジェクト遂行のために、ロータリー財団のグローバル補助金を利用することができます。嬉しいことに、2800地区でもグローバル補助金を活用した新たな奉仕プロジェクトが動き出そうとしています。皆様のクラブでも、こうした話題について例会卓話でとりあげたり、フォーラムで話し合ったりして、プロジェクト実現に向けた動きに繋げていただければ幸いです。

◆米山月間

さて、10月は日本独自の月間として、「米山月間」が設けられています。ご存知のように、米山記念奨学会は、1920年に日本最初のロータリークラブである「東京ロータリークラブ」を創立し、初代会長となった米山梅吉（1868～1946年）の偉業を称えて設立されました。

米山氏は、「大連宣言」をまとめあげた古沢文作氏を“ロータリアンの鏡”と称えたことでも有名です。その古沢氏が1952年に東京クラブで会長を務めた際、米山氏の遺徳を偲んで創設したのが米山基金です。やがて全国のロータリークラブの共同事業に発展し、「財団法人米山記念奨学会」となりました。現在、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本在留の外国人留学生に奨学金を支給し支援する、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。

◆米山奨学生とカウンセラー制度

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」。

事業創設の背景には、米山氏を尊敬していた当時のロータリアンにこうした思いがあったと伝えられていま

す。だからこそ、奨学金支給だけではなく、「カウンセラー制度」も設けられたのです。すなわち、奨学金で生活を支援するだけではなく、奨学生に日本の文化を理解してもらい、ロータリーの心を伝えていくための制度です。皆様のクラブでも、米山記念奨学会について例会卓話でとりあげたり、フォーラムで話し合ったりなどして、ご理解、ご協力いただければ幸いです。特に、2800地区の奨学生割り当てのために、特別寄付「一人千円以上」についてもお願いします。

◆ロータリー学友参加推進週間

10月には、「ロータリー学友参加推進週間」（10月7日を含む1週間）があります。ロータリーの学友とは、以下のプログラムに参加した経験のある人です。すなわち、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー平和フェロシップ、ロータリー奨学金、職業研修チーム、国際親善奨学金、大学教員のための補助金、研究グループ交換、ロータリー・ボランティアです。

◆2800地区のロータリー学友

地区学友小委員会の頑張りもあって、2800地区のプログラム経験者からは200名前後の学友が My Rotaryに登録しています。多い順からロータリー奨学金、研究グループ交換、ローターアクト、インターアクトですが、ロータリー青少年交換が3名しかいないので今後の働きかけが必要でしょう。

RI理事会は、ロータリー学友をクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待し、参加してもらうことを奨励しています。それは、彼らにロータリーの「奉仕の心と実践」をさらに知ってもらうとともに、彼らの成長した姿や活躍の様子を称賛してあげる機会でもあります。そして将来、ロータリーの会員となり、ロータリーのリーダーとして貢献してもらえれば嬉しいです。実際、My Rotaryに登録している2800地区学友のうち、2名がロータリアンとなって活躍しています。

各種セミナー・委員会報告



第1回諮問委員会報告

2017-18年度 地区幹事
奥山 吉一（寒河江RC）

8月20日午前10時より、寒河江市ホテルサンチェリーにおいて今年度第1回の諮問委員会が開催されました。

長谷川直前ガバナーはじめ9名のパストガバナー、上林ガバナーエレクト、大久保ガバナーノミニ、長谷川年度の伊藤地区幹事、佐藤地区資金委員長にもご出席いただき、事務局スタッフを合わせ24名の参加者となりました。

1. 2017-2018年度決算報告
(地区資金、地区基金、地区災害等救援特別資金、地区大会決算、地区事務所決算)
2. 2016-2017年度ガバナーエレクト事務所決算報告
3. 2017-2018年度ガバナーエレクト事務所予算(案)について
4. RI会長代理紹介
5. 2017-2018年度地区大会について

6. 11月ロータリー研究会の内容について
7. 2019-2020年度「日本青少年交換研究会」(NPO-RIJYEC)開催ホスト地区の依頼について
8. ①青少年交換スプリングキャンプ(宮城・岩手、山形、福島)3年に1回の当番のための積み立て金について
②地区旗2枚購入について
③米山奨学生出身国の国旗購入について(ブラジル、モンゴル、ペナン、ハンガリー、ラオス、中国)
④スリランカ、九州北部豪雨災害お見舞いについて
⑤RIJYEC関連行事への出席者の旅費・宿泊費支給規定について

以上

参加された諮問委員の方々よりご質問や貴重なご意見をいただき、活発な討議が行われましたが、いずれの諮問事項にも原案のとおり承認いただきました。

最後に、伊藤直前幹事より長谷川年度でのご協力に対する感謝の挨拶があり、諮問委員会を終了いたしました。

ロータリー財団コーナー



ロータリー財団委員長
新関 彌一郎 (天童東RC)

昨年、ロータリー財団100周年を迎え、アトランタ世界大会で記念式典が行われました。私も参加してきましたが、詳しくは「ロータリーの友」8月号の横組み30ページをお読みください。

さて、長谷川年度の2800地区の年次基金が、昨年対比134%と素晴らしい伸び率を示しました。金額は19万ドルで、3年後の地区補助金にも良い影響が出るようになります。おかげで、かねてより希望が多かった「地区補助金による留学生」の1人分は確保できそうです。グローバル補助金も当然多くなります。そこで、グローバル補助金の活用について、各クラブでも企画を考えていただきたいと思います。地区の財団委員会も手伝いますので、ぜひ立案段階からご相談ください。私たちの手で、地域の活性化と世界に向けた人道的支援を企画しましょう。

ポリオの発生は8月末現在、世界で9人にまで減りました。インドは撲滅宣言をしましたが、周辺国に発生が見られるので、まだワクチンを飲ませています。1月末に私も参加してきましたが、国を挙げて根絶運動が繰り広げられています。来年も開催されるそうで、3泊5日の奉仕です。私もまた参加を予定していますので、一緒に参加したい方は私まで連絡をください。

財団寄付は、95%はロータリアンの手で奉仕され、そのうちの75%は地区の私たちの意思で活かすことができるという極めて明朗な寄付です。「寄付はしたけれど、本当に使われているの?」といったような疑念は、まったく無用のロータリー財団です。安心して、寄付をしましょう。

昨年度、地区がお願いした一人あたり150ドルの目標は達成できませんでしたが、約118ドルと大健闘しました。50ドルは普通寄付として全員が寄付しますので、特別寄付の目標100ドル以上をお願いできれば、目標を達成することができます。

財団の寄付は、地域や世界に向けた奉仕活動をしなから、ロータリアンとして大切な奉仕を学ぶ授業料とも言えます。それが巡り巡って私たちが奉仕の楽しさを実感できたとき、それぞれの職業にも繋がり、ロータリアンも成熟するような気がいたします。自戒しつつ、ロータリー財団の一端を記しました。

公共イメージ推進コーナー



公共イメージ推進小委員長
高橋 眞己 (南陽東RC)

公共イメージ推進小委員会は、昨年度までは広報委員会という名称で活動してまいりました。私自身、第一回地区チーム研修セミナーで「公共イメージ推進小委員会」という名称を目にして、「どのような活動をしたらよいのか、昨年度の広報小委員会とどう違うのか」など、少し面喰いました。

広報小委員会の時は、会員増強委員会のもと、会員増強に繋がる広報をするということが自分たちの役割だと考えておりました。それに対して今年度は、新しい名称の通り、ロータリーの公共イメージを上げていくために、「ロータリーそのものをもっと広く、実践的かつ効果的に広報していく」と理解したところであります。

さて、鈴木一作ガバナーは、公共イメージ推進委員会に要望したいこととして、下記のようなことを掲げております。(第一回地区チーム研修セミナー資料より抜粋)

- ①第2800地区のFacebookページを作成し、地区の各種行事についての広報に努めるとともに、会員からの投稿を奨励する。
- ②各クラブまたはクラブ会員がホームページやFacebookページを作成し、クラブの活動内容を情報発信できるように奨励する。
- ③各クラブの活動が、新聞、テレビ、市報や町報、タウン誌、Facebookなどで情報発信されるように支援・奨励する。
- ④「ロータリーの友」誌を職場や家庭に置いて、皆に読んでもらう運動を奨励する。
- ⑤「ロータリーの友」誌への記事掲載を各クラブへ奨励する。
- ⑥第2800地区や「ロータリーの友」のホームページ、広報誌「ROTARYあなたも新しい風に」などの活用推進に努める。

要するに、ロータリアンはもとより、地域や職場にもロータリーの理解を広めていくとともに、ロータリーの好ましいイメージの広報に努めること。それらを、より効果的な方法で実践していけるように各クラブへ支援していくことが、当委員会の役割だということです。

なお、2800地区のFacebookページやホームページは、次々と更新されています。大いに閲覧・活用してください。ロータリークラブも、私たちロータリアン一人ひとりも、まさに「ロータリーの広告塔」です。上記の①～⑥について、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

青少年奉仕コーナー



青少年奉仕委員長
遠藤 伸一 (寒河江RC)

2010年から7年間、地区の青少年交換奉仕に関わらせていただきましたが、今年度より青少年奉仕委員長ということで、ローターアクト、インターアクト、RYLA、青少年交換の4委員会を担当することになりました。

私の使命は、地区内のクラブ、ロータリアンに4委員会の活動を理解してもらい、奨励していくことと認識しております。ただ、私の性格上、先ず自分自身が活動の目的や内容、活動の成果を心から理解・納得できないことには、それらを皆さんに自信を持ってお伝えすることができません。鈴木一作ガバナーも、前年度踏襲で満足してはいけなくて常々おっしゃっています。それは必ずしも活動内容を変えることなく、「関わるメンバーの目的意識や考え方をより高め、より意義のある行動に発展させていくこと。そうしなければ、マンネリ化をもたらし、やがて衰退していく」との想いからであり、私も鈴木ガバナーとまさに想いは一緒であります。

今年度に入って、ローターアクト会長幹事会、インターアクト地区外研修などに参加してきました。しかし、正直なところ、どちらの委員会活動にしても、私は皆さんに自信を持って話せるまでには至っていないのです。アクターは何のために活動しているのだろうか？ さらに言えば、参加しているアクターたちは、ここへ何の目的で来たのか解っているのだろうか？ そういうことから皆で一つ一つ話し合い、疑問の解消を積み重ねながら、各委員会の盛り上げを図っていきたくて考えています。要は、活動の目的や必要性、達成感などについて、委員の誰もが意欲と情熱を持って話せる青少年奉仕軍団にならなければと、強く、強く感じているところです。それが、私にとって使命達成のための第一歩だと思っています。

今年度のRIテーマは「ロータリー：変化をもたらす」ですが、ここで言う変化とは、「成長」であり「発展」であると鈴木ガバナーはおっしゃっています。2800地区における青少年奉仕活動の「成長」と「発展」を目指して頑張ります。

ガバナー月信9月号で第5190地区（米国）からの青少年交換学生 Justin James CANNIZZARO（スポンサークラブ：鶴岡）は家族の病気のために留学中止となったと報告しましたが、その後、無事に来日できました。したがって、当地区における今年度の青少年交換学生は、派遣・受け入れともに4名です。

山形東RC創立30周年記念式典報告



山形東RC会長
白田 廣司

初秋の爽やかな晴天の下、2017年9月9日に山形東RCの創立30周年記念式典を開催することができました。山形市長の佐藤孝弘様をはじめとする多くのご来賓の皆様、鈴木一作ガバナー、石黒慶一RI理事、パストガバナー各位、そして山形市内4クラブのスポンサークラブの皆様、友好クラブの倉敷瀬戸内RC、相模原南RCの皆様、各地域のロータリアンの皆様のご臨席を賜りましたこと、心より御礼を申し上げます。

記念講演では「途上国から世界に通用するブランドをつくる」をテーマとして、マザーハウス代表取締役の山口絵理子氏に途上国での体験を交えながらご講演いただき、本物の奉仕はどうあるべきなのかを教えてくださいました。

式典では、鈴木ガバナーと山形市長より心温まるご祝辞を賜り、誠にありがとうございました。また、記念事業として、東日本大震災により遺児となった青少年への教育支援「ロータリー希望の風奨学金」への寄付を行いました。

祝賀会においては、山形県知事の吉村美栄子様よりご祝辞を賜り、以前は山形東RCのクリスマスパーティーに家族で参加して、楽しく過ごしたことなどもお話しいただきました。さらに、山形舞子の祝舞、美味しい料理とお酒に皆様の笑顔を見ることができて、会員一同この上ない喜びでありました。今後も皆様のご指導、ご鞭撻をいただき、誇りあるクラブ創りに邁進していく覚悟でございます。

結びとなりますが、ご臨席を賜りました皆様のご健勝と参加クラブのご繁栄をご祈念申し上げます。



青少年交換学生 月次報告



小林 ましろ さん

派遣地区・国名 5190・アメリカ
ホストRC Reno South
スポンサーRC 鶴岡

こんにちは。私は今、米国ネバダ州のリノ(Reno)という都市にいます。8月3日に到着し、こちらでの生活も一ヶ月が経ちました。留学期間の十分の一が過ぎてしまったかと思うと、毎日を大切に生活しなければという気持ちが強くなります。

7日には、学校が始まりました。始まる前はとても楽しみにしていた学校生活ですが、実際に始めてみると大変でした。授業毎に教室のメンバーが違うので、友達を作るのが難しく、最初の2日間はお昼ご飯を一人で食べました。今は9人の女の子と毎日一緒に食べています。授業は理解できないこともありますが、先生や周りの人に聞くと分かりやすく説明してくれるので、なんとかついていくことができます。誰もがとても親切で、私は本当に感謝しています。



25日から27日の3日間、5190地区のロータリー受け入れ留学生全員が集まるオリエンテーションがありました。会う前はとても緊張していたのですが、会ってみると面白くて、優しい人ばかりで、みんなのことがすぐに好きになりました。その一方で、誰もが英語をとてもし上手に話すので、悔しい気持ちにもなりました。私は英語の文法を気にしすぎず、とにかくたくさん話すように心がけました。家に帰ってからも、そういう気持ちでたくさん話していたら、ホストファミリーが「すごく良くなってるよ!」と言ってくれたので、嬉しくなりました。オリエンテーションから学ぶことが本当にたくさんあって、改めてロータリーの留学生で良かったと感じました。

この一ヶ月、楽しいことも色々ありましたが、自分の英語力や行動にいらいらしたり、落ち込んだりすることも多々ありました。その度にホストファミリーやインバウンドの友達に助けてもらい、前向きに考えて頑張ろうという気持ちになります。また、そういう中で少しずつ成長しているんだなと思うと、嬉しい気持ちにもなります。これからも、私なりに頑張っていきたいと思います。



Nelson Jesus CARDERO HERNANDEZ

出身国 ブラジル
ホストRC 山形西
高校名 山形城北高等学校

●日本でやってみたいことと抱負

スノーボード、国内旅行

●近況報告

山形での滞在が始まり、山寺など、山形の幾つかの名所に行ってみることができました。この報告書を皆様が目にする頃には、すでに学校生活が山形城北高校で始まっています。学校では普通の科目のほかに、日本語の授業もあります。友人もでき、ホストファミリーの平吹さんと親しくさせていただき、充実した毎日を送っております。



NYÁRÁDI Natália

出身国 ハンガリー
ホストRC 酒田中央
高校名 羽黒高等学校

●日本でやってみたいことと抱負

私は3年前に剣道を始めました。以前から日本に関心を持っていましたが、剣道を始めたことによって日本文化をより身近に感じるようになりました。とり分け、日本の神話、歴史、文学は、私にとって非常に興味深いものとなりました。さらに、日本の食文化や伝統、また日本の若い人たち特有の文化、何よりも日本の人々にとても興味があります。これから、たくさんの学生の皆さんと出会って会話をすることで、日本語を学びながら、日本をより深く理解したいと思っています。

●近況報告

元気に過ごしております。剣道の試合を観戦したり、実際に手ほどきなどを受けております。羽黒の出羽三山の剣道奉納試合にも出場して、入賞しました。

(酒田中央RC青少年委員長 中山 一)



山辺RCを語る

来訪日：2017年8月1日(火)
幹事：三吉 博史



我がクラブの自慢は、24名の会員同士の仲が良く、例会出席率は常に90%以上を保ち、「楽しくなければロータリーではない」精神のもと、明るく楽しい充実したロータリー活動に取り組んでいることです。また、スポンサークラブの山形西RC、兄弟クラブの中山RC、友好クラブの日立中央RCとは、毎年「合同例会」や「交流会」を開催するなど、他クラブとも積極的に親睦・交流を図っております。

行政や地域との関わりが強いことも、我がクラブの自慢です。山辺町の町長、教育長、町議会議長は、例会卓話をはじめ、クラブ行事にも快く参加してくれます。さらに、山辺町主催の「日立さくらまつり」への参加、当クラブが中心となって行政や地域を巻き込んで立ち上げた「やまのべ星ふるロードマラソン大会」の開催、山辺JCとの「合同例会・親睦会」の開催など、様々な事業を行っています。

さて、鈴木一作ガバナーの公式訪問では、例会前に山辺町役場の町長室へ行き、遠藤直幸町長への表敬訪問を行いました。遠藤町長からは、「やまのべ星ふるロードマラソン大会」に対する地区補助金支援への御礼とともに、ロータリー活動に対する大きな期待の言葉がありました。鈴木ガバナーからは、2800地区のリーダーとしてのロータリー活動に対する熱い思いとともに、著書『本当は大切なこと』を遠藤町長に寄贈するなど、大いに話がはずんで1時間に及ぶ中身の濃い訪問となりました。

例会では、鈴木ガバナーは気さくで温かい語り口で、今年度の方針や考え方をきちんと丁寧に、かつ真剣に示してくださいました。その姿には、ガバナーのロータリー活動に対する情熱がひしひしと感じられました。その後のテーブルディスカッションでは、クラブの長所や短所、活性化などについて意見交換を行いました。様々な意見が飛び交って予定時間をはるかに超過するなど、大いに盛り上がりました。おかげで、ロータリー活動の充実に向けて、我々も大いに意欲が喚起されました。

今後も、会員同士が仲良く切磋琢磨し合いながら、地域の皆様に喜んでもらえるような、地域に密着した事業に取り組んで参りたいと思います。



山形西RCを語る

来訪日：2017年8月7日(月)
幹事：五十嵐 信

我がクラブは今年61年目、いわゆる2周目の初年度であり、新たな一歩の年です。創立時は、「十日町の角から旧県庁に至る目抜き通りの東側が山形クラブ、西側が西クラブ」と会員の棲み分けをしたそうで、名実ともに歴史と伝統の西クラブです。

さて、我がクラブの謙虚な自慢、それは「あくことのないチャレンジ」。なにしろ100名から成るクラブなので、色々な会員がいます。ロータリー以外の世界で活躍している沢山の会員が、ロータリーで切磋琢磨しながら新しいことにチャレンジしています。

今年は、ブラジルからの交換留学生ネルソン君のお世話にチャレンジです。30年ぶりのホストクラブですが、何もかもがほぼ初めてで、担当委員長はじめ、関わる会員全員がスリリングな毎日を送っています。実に重いお役を軽くだきました。大変なことを楽しみ、冷汗をかきつつ、きっちりやる。矜持を以て、責任を確実に果たします。

次に、第4回を迎える石巻復興支援芋煮会。80名を超える被災者の皆さんを、米山奨学生、交換留学生、BRAチーム山形の皆さん、そして西クラブの家族と会員とでお迎えします。担当委員会のメンバーは、事前に何度も石巻の仮設住宅を訪ね、参加される方々のバックグラウンドを知り、当日のできる限りのおもてなしに備えます。これもまたチャレンジです。

さて、クラブの方針もチャレンジング。今年度のクラブテーマは、「あなたのロータリーを見つけよう」です。100人のロータリアンがいたら、100通りのロータリーがある。ガバナー以外に、今年是他クラブ会員のロータリーに関する卓話は一切なしです。ロータリーの話は、会長が例会で伝えます。自分のロータリーを見つけるヒントは、会長が提供するのです。

例会は、いわゆるビッグネームと、他クラブでもスピーチをしている西クラブ会員による卓話を中心。充実した質の高い39回の例会を目指します。

会員は、国際ロータリーの一員であることに意義を感じている一方、西クラブの会員であることにも大きな誇りと喜びを感じています。チャレンジングスピリットで、会員一同、今年も新しい歴史を作っていきます。



山形中央RCを語る

来訪日：2017年8月8日(火)
幹事：石山 徳昭

「明るく楽しいRC活動の実践」

山形中央RCは、山形市内五つのRCがスポンサークラブとして平成5年3月に創立、同年4月の承認を受け、総勢50名の会員をもって発足いたしました（特別代表：山形RC故後藤又兵衛氏）。

創成期は、若さを活かした行動力を背景に、「千歳山の緑を守る会」の活動に協賛して植樹を実施してきました。また、平成11年からは「ふれあい芋煮会」参加を通して、「明るく楽しいRC活動の実践」に邁進しています。

この「ふれあい芋煮会」は、山形の秋の風物詩「日本一の芋煮会フェスティバル」のプレイベントとして開催されています。具体的には、フェスティバル当日に参加が難しい市内の社会福祉団体連絡会に所属する皆さん、市内中学校支援学級の生徒さんなど、毎回総勢170名を超える方々を招き、



モンテディオの選手たちとのスポーツ交流、当クラブの会員と共に河川清掃などをしながら、明るく楽しい「ふれあい芋煮会」を開いています。ちなみに、この地域奉仕活動は平成11年にガバナー賞を受賞しています。

現在、当クラブの会員40名は、奥山会長のもと、クラブのモットーである「明るく楽しいRC活動」を実践しながら、今年度の目標である「RI会長賞」を目指し活動しております。2800地区ロータリアンの皆さん、山形へお越しの際は、「明るく楽しいRC」山形中央RC例会へご参加ください。

白鷹RCを語る

来訪日：2017年8月17日(木)
幹事：向田 宏男

8月17日は、ガバナー公式訪問例会でした。白鷹ロータリークラブの自慢は、ガバナーによる5つの重点目標を受け、「自由討論で親睦と敬愛の念を深め合うフォーラム例会」を実践していることです。7月27日には「ガバナーの地区目標に近づくために当クラブのあり方を考える」、8月3日には「会員増強への取り組みについて」、8月10日には「ガバナー訪問について意見交換」のフォーラムを実施しました。以下に、公式訪問におけるフォーラムの概要を紹介します。

<フォーラム概要：例会は、訓練、学びの場を再認識！>

●テーマ1：クラブ活性化への取り組み

- ①理事会報告を密に、若者と女性会員の増強を、外部への情報発信を、予算の見直しを、我がクラブもRI会長賞を。
- ②ロータリーの究極の目的は、真のロータリアンになること→合言葉を共有しよう！「修・友・情・奉・平・感」（修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動）

●テーマ2：ガバナーに要望したいこと

- ①熱い思いに満ちた7・8号の月信に感動（継続を！）
- ②地区大会の簡素化を、IM参加の対応に一考を、リーダー育成を、公共イメージ推進の工夫を、職業奉仕の精神喚起を。

<決意：「美しい心 ロータリアンの矜持」を胸に！>

鈴木ガバナーは、「美しい心、ロータリアンの矜持」との想いから、「無私の日本人」（著：磯田道史）を紹介され、「本当は大切なこと ～偉い人より、立派な人に～」（著：鈴木一作）を会員全員に献本されました。熟読し、今後の活動に活かします！



天童西RCを語る

来訪日：2017年8月21日(月)
幹事：菊地 政宏



2020年に東京オリンピックが始まります。その記念すべき年に、我が天童西RCは30周年を迎えます。27年前、クラブが発足した年は、国際ロータリー第2800地区が誕生した記念すべき年でもありました。現在20名でクラブ活動を行っております。毎年楽しく行っている親睦行事と事業を紹介いたします。

まず、新年度に入ってすぐ行う「ストレス解消パークゴルフ大会」は、好プレー・珍プレーで盛り上がる親睦行事です。また、全員が浴衣を着て行う8月のビアパーティーは、いつもと違った雰囲気を楽しめる夏の風流な行事となっております。さらに、冬の雪のちらつく中、露天風呂に樽を浮かべ杯を酌み交わす「風呂例会」は、温泉の町ならではの醍醐味であります。

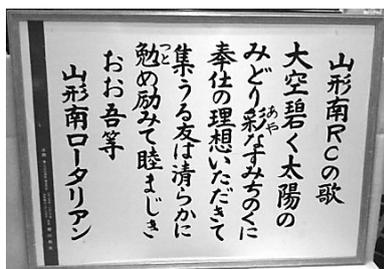
天童西RCには、10年間も継続している青少年育成事業があります。天童市内の中学校に出向き、異業種から成るロータリアンの特

色を生かし、一年生を対象に各自の仕事内容の説明後、働くことの「喜びと目的」や「社会人としてのマナー」などを話す職業講話を行っております。RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」に基づき、私たちも変化をもたらそうと、継続11年目にあたる今年度は2校に訪問する予定です。この事業は今年度の地区目標とも一致しており、「ロータリアンの矜持」を旨として、中学生と接していきたいと思っております。中学生には、自己の進路に夢と誇りを持ち、自己実現に向かって努力して欲しいと願っております。



山形南RCを語る

来訪日：2017年8月22日(火)
幹事：石山 祐介



山形南RCは、昭和47年創立のクラブです。会員数は最大時93名でしたが、現在は53名です。しかし、会員の年齢は50歳以下が34%、51歳以上70歳以下が34%、71歳以上が32%と、非常にバランスのとれた年齢構成です。やがて迎える50周年に向けて、60名の会員数にしようと鋭意努力をしております。

我がクラブには「山形南ロータリークラブの歌」があり、毎月の第4例会で斉唱しています。クラブソングを持っているクラブがどのくらいあるかは分かりませんが、私たちににとっては誇れる自慢です。

もう一つ、他のクラブにない、特筆すべき事業があります。それは、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者さんやご家族に対して、日本ALS協会山形県支部を通

じ、22年間に亘って支援を続けてきたことです。具体的には、毎年8月15日にチャリティゴルフコンペを行っております。日本にとって終戦記念日という特別の日にゴルフを楽しめる心身の健康に感謝する一方、ALSで苦しんでおられる方々を想いながらのチャリティゴルフコンペです。実は、当クラブのチャーターメンバーで、初代副幹事の叶内氏がALSに罹患されたことが支援の契機でした。当クラブの奉仕の柱として、今後も続けてまいります。

最後に一。先輩方の築いた良き伝統を継承し、さらに飛躍できるよう、そして50周年記念祝賀会が盛大に開催できるよう、会員同士が「勉め励みて睦まじく」(山形南RCの歌より)をモットーに、楽しい例会を心がけてまいります。



村山ローズRCを語る

来訪日：2017年8月23日(水)
会長：高谷 時子

我がクラブは19名の会員中5名が女性会員で、しかも、今年度の会長・幹事は女性です。会員の出席率はやや悪いと思いますが、現役社長が多く、職業奉仕に力を注いでいるからです。

クラブの名前のように、薔薇のように美しく、時にはしっかりと理性を発揮し、やるべきことはやるクラブです。

毎年、東沢バラ公園のごみ拾い、村山徳内まつりでのごみ集めなどの社会奉仕を行っております。特に今年は、ブルガリアのバラ(香りが強いのが特徴です)を植樹する予定です。

会員の職場では、高校生の職場見学を引き受けたり、小学生を招いて工事現場の見学をさせたりなど、皆で青少年育成に心がけています。

また、今年は村山市で、ブルガリアの体操選手がオリンピックに向けて2週間の合宿をしましたが、歓迎会や回転寿司での交流も行っております。2020年のオリンピックまで、毎年、何らかの形で交流を続けていくつもりです。

さらに、村山市の交流都市であるカナダのバリー市とは青少年の交流が盛んですが、当クラブでも援助をしています。今年は大人も来日するので、ホームステイや歓迎会等で、和風文化を取り入れた交流をする予定です。

今後とも、「明るく和やかに楽しく」をモットーに、ロータリー活動を頑張ります。



鶴岡西RCを語る

来訪日：2017年8月28日(月)
幹事：佐藤 一嘉



鶴岡西RCの自慢は、以下の4つです。

- ①当クラブは、50年の歴史の中でガバナー3名を輩出いたしました。また、チャーターメンバーで、最年長でもある91歳の皆出席メンバーが現在もいます。
- ②最年少が44歳、最年長が91歳で、50歳ほどの年の差がありますが、和気藹々のクラブです。また、女性4名のメンバーも生き生きと活動しています。在籍の古いメンバーが大勢いても、新入会員は敷居が高いと感じることなく、すんなり溶け込むことができます。
- ③特長ある例会として、座禅例会があります。早朝、お寺で無我の境地で座禅を組んだ後に朝食をいただき、住職さんから講話を聞くという例会です。食べ方やおかわりの仕方など、全てに意味があり、大変勉強になります。
- ④特長ある活動としては、毎年恒例の早朝内川清掃ボランティアがあります。また、少年サッカー大会を共催しており、平成16年から今年4月の大会まで14年間も続いています。さらに、鶴岡中央高校で、就職希望者向けの講話と就職模擬面接会を毎年開催しております。講話では、就職先でどのような気持ちで仕事に打ち込んで欲しいかなど、企業経営者の観点から話をしています。模擬面接会では、PTAの方々と一緒に2名毎の数班に分けて面接し、一般的な質問から意地悪な質問などで、面接本番のための予行練習をしています。

今後とも、さらに魅力あるクラブを目指し、新しい活動や改革などを模索・検討してまいります。

新庄RCを語る

来訪日：2017年8月30日(水)
幹事：長沼 建

我がクラブは、今年で58年目を迎えます。会員数は15名と少数ですが、年齢層は幅広く、地元のオピニオンリーダーであり、かつ情熱的な精鋭メンバーが在籍しています。また、老人保健施設へのそば打ち慰問例会、市民花壇への植栽や管理、市立図書館への大型絵本の制作や寄贈など、幅広いロータリー活動を行っています。

さて、新庄と言えば『新庄まつり』を連想される方が多いのではないのでしょうか。江戸中期(宝暦5年)、藩主の戸沢正誼が凶作飢饉に見舞われた領民たちを励まし、五穀豊穡を祈願するために始めた新庄まつりは、毎年8月の24~26日に開催されます。平成21年に国重要無形民俗文化財に指定され、平成28年にはユネスコ無形文化遺産にも指定されました。262年目を迎えた今年の新庄まつりは、延べ55万人の方がお出でくださいました。クラブのメンバーも山車(やたい)の制作や囃子の演奏など、様々な形でまつりに参加しています。また、全20町内から成る各町内の若連も、例年以上に豪華絢爛な山車を1~3ヵ月、町内によっては1年間かけて、一生懸命に制作してきました。特に、来年の新庄まつりまで新庄歴史センターに1年間展示される『歌舞伎部門』と『物語部門』の最優秀選考の山車には、各若連ともに特別な思いがあります。今回、我が新庄RCメンバーのいる千門町若連と落合町若連が、その最優秀山車に見事に選考されるという栄誉に輝きました。喜びもひとしおです。

さて、8月30日に開催された「新庄・新庄あじさい・最上3クラブ合同ガバナー公式訪問例会」は、非常にタイトで緻密なスケジュールだったため、ガバナーに優秀山車をご覧いただくことは叶いませんでした。とても残念でしたが、懇親会は「まつり」に匹敵するくらいの盛り上がりでした。

2800地区のRCの皆様も、ぜひ盛大な『新庄まつり』を見に来てください。



最上RCを語る

来訪日：2017年8月30日(水)
幹事：奥山 茂智



我がクラブは、人口8,900人、田園風景が素晴らしい最上町にあります。人口の割には会員数が23名もいるのですが、例会出席率の向上しないことが悩みの種です。そんな最上クラブの奉仕活動の1つに、東日本大震災復興事業のサンパウロFCカップがあります。

この事業は、東日本大震災後の2011年5月28日、山形県4チーム、宮城県1チームが参加しての大会から始まりました。町内外の企業の協力による炊き出しを食べてもらい、大会終了後には赤倉温泉、瀬見温泉の湯にも浸かってもらい、子供たちや保護者の皆様の傷ついた心を癒すことができました。監督や保護者の皆様と酒を酌み交わしながら、震災のこと、今後のことを、そして涙ながらに語った感謝の言葉を伺ったことなど、未だに忘れられない思い出です。

2014年からは最上クラブが主催者として、東日本大震災避難者支援等事業補助金の援助を受けながら、毎年9月の秋分の日に大会を開催しています。おかげさまで年々参加チームが増え、今年は山形県7チーム、宮城県3チーム、岩手県5チーム、福島県1チームの合計16チームが参加する予定です。お昼の炊き出し(芋煮)は、参加する子供たちや保護者の方々が楽しみにしてくれている大会名物料理となっています。最上サッカー協会、赤倉温泉観光協会、そして国際ロータリーの協力のもと、多くの子供たちに夢と希望を少しでも与えることができましたことは、我々最上町ロータリーの無上の喜びです。

最後になりますが、9月23日、最上町西公園で皆様のご来場を心よりお待ちしております。



米山奨学生レター

vol.3

山形大学1年
アリウンポロド
スガルマー (モンゴル)



私は天童RCに所属し、毎月の例会に参加して6カ月になります。その間、色々なイベントにも、できるだけ積極的に参加しました。ロータリーという新しい環境の中に入り、初めて多くの方々の前で話すチャ



ンスも与えられ、すぐドキドキしたのを覚えています。それらを通じて、個人的にもすぐ成長できて、様々な大切なことを理解できたと思っています。

最初に参加した例会では、特に緊張していました。しかし、天童RCの皆さんの温かい雰囲気は、なんとなく家族みたいに感じられました。カウンセラーの松村さんは、私をいつも支えてくれてます。こうした優しい気持ちで助けてくれるロータリーの皆様のおかげで、私は安心して勉強を頑張ることができていると思います。これからも皆さんの信頼を失わないように、一生懸命頑張ります。



米山奨学委員レポート (2)

米山奨学・学友委員会 委員
松村 澄男 (天童RC)

地区の米山奨学委員を拝命し、早6年目です。それまで国際交流事業には関与したこともなく、米山奨学事業については財団よりも米山奨学に寄付を優先する程度で、特に積極的ではありませんでした。突然のご指名で全国研修会に参加した時、その参加者(各地区の奨学委員長)の熱意、事務局の皆さんの配慮や経験に基づく資料の数々、講師の方々の心憎い講演などに感動し、当時の和田ガバナーの指示に従い、お手伝いをさせていただきました。

委員の拝命以来、当地区における特徴ある米山奨学委員会活動のテーマとして、海外応募奨学生制度に尽力してきました。ガラー先生(G・ジャンチブ氏)の熱意や新モンゴル高校の生徒の純粋さ・優秀さに打たれ、何度かモンゴルを訪問交流できたことも私の力となりました。現在、モンゴルからの応募奨学生は3名です。制度確立に携わらせていただけたことは、当時の新関ガバナーのお陰と感謝しております。

地区では米山奨学会寄付が目標に達していなかったのが、「米山記念奨学会の歴史と活動を理解してもらうことが、寄付増進の王道だ」と信じ、それなりの勉強をしながら、奨学生に対するケアや卓話などに注力してきました。残念ながら実績は上がりませんが、力強い委員会運営と実行力に富む大久保委員長の元で目標達成に近づいてきたことを、大変嬉しく思っています。

昨年は韓国の金辰彦君、今年からモンゴルのスガルマーさんのお世話を仰せつかり、本当に良い経験をさせていただいています。奨学生との付き合いを通じて、元会長、高会長の米山学友会の活動にも参加でき、感謝しております。世界に誇る日本のRCの国際奉仕を、今後とも支援してまいりたいと思っております。

ガバナーの想い

ガバナー公式訪問も30クラブを終えました。訪問の目的は、「今年度のRIテーマと地区目標、それらを踏まえた地区運営とクラブ運営」について説明・奨励することです。私としては、目的は十分果たせたと思っています。また、その多くが飲食を伴う夜の例会だったこともあり、大いに親睦を深めることができました。

残念なことに、RI会長賞を目指すと言明しながら、まだロータリークラブセントラルへ目標登録をしていないクラブがいくつかありました。言い換えれば、高校進学を目指しながら、肝腎の入学願書を出していないのと同じです。もちろん、頑張ったけど達成できなかったという場合はあるでしょう。しかし、2800地区の全クラブ、せめてスタートラインには立って欲しい!

RI会長賞は、RI会長やガバナーのためにとるという気持ちなど、私には全くありません。RI会長を支えるため、自らの日常を捧げている石黒慶一RI理事の献身に対して、我々2800地区ロータリアンは如何に応えるかという心意気の問題だと思っています。

公式訪問では、ロータリー財団や米山奨学会への寄付について特に言及はしませんでした。なぜなら、それらはPETSで既に約束(申し合わせ事項)したことであり、私はクラブ会長の努力を信じているからです。

会員増強については、申し合わせ事項の通り、少なくともRI会長賞は受賞できるようにお願いしました。人口当たりのロータリアンの数は、山形県が日本一です。むしろ、会員の資質向上、退会防止が私の本意です。それだけに、ガバナー訪問でロータリーへの認識が深まったという声を少なからず耳にできたことは、私にとって何よりの喜びでした。もちろん、数は力です。クラブ活性化のために、会長の努力を期待します。

ローターアクトのコーナー

米沢ローターアクトクラブ

(提唱クラブ：米沢、米沢上杉、米沢中央、米沢おしょうしな)

〈主な活動内容〉

会員卓話、東北鍋フェス、サマー交流会、大人の社会科学見学、雪灯籠制作、花いっぱい運動、戎市「つかめる水体験・くるみボタン作成」、ロータリアンの夜の例会参加、地区内外の年次大会参加など。



〈活動紹介〉

ホストを務めた地区行事「アクトの日イベント：東北鍋フェス」では、県内外のアクトとの交流を深め、アクトの楽しさを再確認しました。新たに参加した「花いっぱい運動」では、米沢市のボランティアとして街路樹脇に花を植えました。例年参加している「戎市」では、子供たちを対象に「つかめる水体験」、「くるみボタン作成」を行いました。1回10円の寄付を募り、総額1,240円のチャリティ基金を集めることができました。地域の方々にも、ローターアクトを知ってもらおうことができたのではないかと思います。

鍋フェスを始め、新しい活動にも挑戦していくクラブを目指して頑張っています！

インターアクトのコーナー

鶴岡中央高等学校

(スポンサークラブ：鶴岡西)

私たちは、社会奉仕と国際理解を目的に活動しています。具体的には、施設訪問、清掃活動、募金活動、手話教室(聴覚に障がいのある方から手話を教えていただくなどの交流)、イギリス出身の本校職員のALTとの交流など、異年齢、障害者、外国人を含めた幅広い関わりも大切にしています。

毎年の陽光児童館との連携・協働では、子ども祭りで使用するチラシちぎり、景品としてプレゼントするアイロンビーズ、プラバンの絵の下書き、牛乳パック駒などの作成などに協力しています。もちろん、子ども祭りにもボランティアスタッフとして参加したり、花壇整備のお手伝いをしたりしています。子どもたちが楽しそうにチラシプールで遊んでいる姿はとても可愛らしく、思わず笑顔になります。私たちにとっても、コミュニケーション力を磨き、自分から何をしたらよいかを考えて行動することを学ぶ良い機会だと思っています。



特に印象に残る活動は、「あつみさくらマラソン」のスタッフボランティア参加です。この行事では、大会の運営に多くの人関わっていることを知りました。一人ではできないことでも、同じ目的をもった人が集まり、協力して行動することで、大会を終えた時には大きな達成感を得られるということも実感できました。

ボランティアを通して経験したことを様々な場面で活かしながら、これからも自分たちができることを実践し、成長していきたいと思っています。

2017-2018 クラブ会員数／出席率

ブロック	クラブ名	2017.7.1		2017.7.31			2017.8.31		年初からの増減数				累計出席率
		会員数 (女性会員数)		会員数 (女性会員数)	出席率	会員数 (女性会員数)	出席率	増 (女性会員数)	減 (女性会員数)				
第1ブロック	酒田	27 (3)		28 (3)	75.00	27 (3)	89.29	1 (0)	1 (0)				82.15
	酒田東	35 (5)		36 (5)	94.70	36 (5)	86.10	1 (0)	0 (0)				90.40
	酒田中央	37 (0)		37 (0)	80.97	37 (0)	88.19	0 (0)	0 (0)				84.58
	酒田スワン	15 (6)		15 (6)	85.71	15 (6)	82.14	0 (0)	0 (0)				83.93
	酒田湊	15 (3)		15 (3)	95.00	15 (3)	97.78	0 (0)	0 (0)				96.39
第2ブロック	鶴岡	28 (5)		29 (5)	90.48	29 (5)	80.91	1 (0)	0 (0)				85.70
	鶴岡西	33 (4)		34 (4)	83.85	34 (4)	85.42	1 (0)	0 (0)				84.64
	余目	29 (1)		29 (1)	77.68	29 (1)	62.50	0 (0)	0 (0)				70.09
	立川	14 (0)		13 (0)	88.64	13 (0)	90.91	0 (0)	1 (0)				89.78
	鶴岡東	28 (1)		28 (1)	83.16	28 (1)	87.76	0 (0)	0 (0)				85.46
第3ブロック	鶴岡南	20 (3)		20 (3)	73.68	19 (3)	75.66	0 (0)	1 (0)				74.67
	天童	45 (3)		46 (3)	94.17	46 (3)	93.35	1 (0)	0 (0)				93.76
	東根	34 (1)		34 (1)	92.73	34 (1)	84.64	0 (0)	0 (0)				88.69
	天童東	47 (0)		48 (0)	80.43	48 (0)	94.77	1 (0)	0 (0)				87.60
	天童西	18 (2)		20 (2)	83.75	20 (2)	88.33	2 (0)	0 (0)				86.04
	東根中央	45 (3)		46 (3)	82.57	46 (3)	76.00	1 (0)	0 (0)				79.29
	村山	10 (0)		10 (0)	95.00	10 (0)	100.00	0 (0)	0 (0)				97.50
	新庄	14 (2)		15 (2)	88.33	15 (2)	86.67	1 (0)	0 (0)				87.50
	尾花沢	19 (0)		19 (0)	87.50	19 (0)	87.50	1 (0)	1 (0)				87.50
	最上	22 (1)		23 (1)	54.68	23 (1)	48.96	1 (0)	0 (0)				51.82
	尾花沢中央	16 (1)		16 (1)	89.06	16 (1)	85.42	0 (0)	0 (0)				87.24
第4ブロック	村山ローズ	18 (5)		19 (5)	84.00	19 (5)	84.00	1 (0)	0 (0)				84.00
	新庄あじさい	15 (0)		15 (0)	84.44	15 (0)	91.11	0 (0)	0 (0)				87.78
	寒河江	52 (2)		54 (2)	80.13	54 (2)	98.03	2 (0)	0 (0)				89.08
	大江	16 (1)		16 (1)	100.00	17 (1)	100.00	1 (0)	0 (0)				100.00
	河北	29 (0)		29 (0)	86.11	29 (0)	83.72	0 (0)	0 (0)				84.92
	寒河江さくらんぼ	40 (3)		40 (3)	90.62	40 (3)	86.47	0 (0)	0 (0)				88.55
第5ブロック	西川月山	13 (0)		13 (0)	87.66	13 (0)	62.50	0 (0)	0 (0)				75.08
	山形	90 (2)		91 (2)	100.00	92 (2)	100.00	2 (0)	0 (0)				100.00
	山形北	58 (0)		60 (0)	93.50	61 (0)	97.01	3 (0)	0 (0)				95.26
	山辺	24 (0)		24 (0)	94.57	24 (0)	94.20	0 (0)	0 (0)				94.39
	山形南	53 (2)		53 (2)	95.85	53 (2)	96.57	0 (0)	0 (0)				96.21
	中山	12 (0)		12 (0)	72.22	12 (0)	83.33	0 (0)	0 (0)				77.78
	山形西	101 (0)		101 (0)	94.56	101 (0)	97.74	1 (0)	1 (0)				96.15
	上山	15 (3)		16 (3)	62.50	16 (3)	75.00	1 (0)	0 (0)				68.75
	山形東	32 (1)		32 (1)	90.07	31 (1)	93.18	0 (0)	1 (0)				91.63
	山形中央	40 (3)		40 (3)	94.35	40 (3)	96.91	0 (0)	0 (0)				95.63
山形イブニング	30 (1)		30 (1)	60.19	30 (1)	65.43	0 (0)	0 (0)				62.81	
第6ブロック	米沢	59 (8)		61 (8)	96.68	61 (8)	89.75	2 (0)	0 (0)				93.22
	米沢上杉	66 (3)		69 (4)	99.28	69 (4)	98.55	3 (1)	0 (0)				98.92
	高島	49 (3)		49 (3)	76.02	49 (3)	57.65	0 (0)	0 (0)				66.84
	米沢中央	38 (4)		39 (5)	98.72	39 (5)	98.29	1 (1)	0 (0)				98.51
	米沢おしょうしな	28 (3)		28 (3)	89.29	28 (3)	60.71	0 (0)	0 (0)				75.00
	長井	29 (1)		29 (1)	85.61	29 (1)	76.25	1 (0)	1 (0)				80.93
	南陽	12 (1)		13 (1)	80.75	13 (1)	84.60	1 (0)	0 (0)				82.68
	白鷹	20 (0)		20 (0)	89.12	20 (0)	80.11	0 (0)	0 (0)				84.62
	小国	17 (0)		17 (0)	75.52	17 (0)	78.76	0 (0)	0 (0)				77.14
	南陽東	33 (2)		36 (2)	76.64	36 (2)	61.77	3 (0)	0 (0)				69.21
	長井中央	18 (1)		20 (1)	83.80	20 (1)	72.50	2 (0)	0 (0)				78.15
	南陽臨雲	30 (3)		30 (3)	79.99	30 (3)	77.73	0 (0)	0 (0)				78.86
合計	1588 (96)		1617 (98)	85.59	1617 (98)	84.28	36 (2)	7 (0)				84.93	



ロータリー情報のコーナー〈4〉

ロータリー情報小委員会 櫻井 忠志



土屋 元作

1893年、シカゴで万国博覧会が開催された時、日本館の通訳を担当していたのが米山梅吉と土屋元作でした。これを契機に、二人の間には兄弟のような親交が始まったと言われています。

大阪にロータリークラブができてしばらくして、彼は大阪クラブに入会します。以後、東京クラブの米山梅吉と東西相呼応して、日本ロータリーの草創期発展に大きく貢献されました。

土屋は1921年の米国旅行中、ナッシュビルRCの例会に出席し、「ロータリークラブ以前のロータリアン」というテーマで、二宮尊徳翁の話を流暢な英語で話したことで有名です。その一部を要約して、以下に紹介します。

門人と入浴の際、二宮尊徳は門人に向かって「これ見よ。この湯の水を我が方に掻けば向こうへ流れ、向こうへ押せばかえって我が方に流れてくる。これすなわち、



天理と言うものである。人間の手の形は禽獣と違う。禽獣の手は、ただ手前に掻くことができ、向こうへ押すことができぬ。人間の手は掻くことも押すこともできる。故に、人間の道は禽獣の道と違わねばならぬ。好いことを手前に掻き取ろうとすれば、人間変じて畜生となるぞ」と申されました。この「人、もし何か欲するところがあるなら先ず他人の為に働くが好い、そうすれば必ず人に報いられるであろう」という尊徳翁の教えは、シェルドンの「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という標語よりも古くから日本にあったのです。

このスピーチは、日本には二宮尊徳という人物がいて、ロータリーの信条と同じ教訓が早くから存在したということを知ったものであり、ナッシュビルRCの会員を大いに喜ばせたそうです。なお、土屋元作は、「荒城の月」で有名な滝廉太郎と従兄弟であったことでも有名です。

(参考文献：佐古亮尊・著「ロータリーの森を歩く」、札幌東RC塚原PGの雑想ノート)

新入会員紹介



後藤 英彦

所属クラブ / 最上
職業分類 / 商業銀行
入会日 / 2017.7.11



山下 高明

所属クラブ / 酒田
職業分類 / 空港ビル
入会日 / 2017.7.19



中島 浩

所属クラブ / 長井
職業分類 / 貯蓄銀行
入会日 / 2017.7.25



櫻井 靖

所属クラブ / 山形北
職業分類 / 建設業
入会日 / 2017.8.31



岩崎 雄策

所属クラブ / 尾花沢中央
職業分類 / 学校教育
入会日 / 2017.9.1



伊藤 歩

所属クラブ / 山形西
職業分類 / 運送業
入会日 / 2017.9.4



佐藤 修

所属クラブ / 山形北
職業分類 / 美容室経営
入会日 / 2017.9.7



下村 麗

所属クラブ / 山形北
職業分類 / 生花販売業
入会日 / 2017.9.7



山科 専一

所属クラブ / 山形北
職業分類 / 介護事業
入会日 / 2017.9.7



野村 百合子

所属クラブ / 山形北
職業分類 / 仏具販売
入会日 / 2017.9.14

訃報



後藤 八郎

2017年8月21日 逝去
享年69歳（鶴岡南）

表彰関係



ロータリー財団寄付者
ポール・ハリス・フェロー
メジャードナー

安孫子 貞夫

（寒河江 RC）



マルチプルポール・ハリス・フェロー
PHF+3

小高 昭治

（酒田 RC）

10月の 地区スケジュール

10/1 日	
2 月	G公式訪問 (山形イブニング)
3 火	G公式訪問 (村山)
4 水	
5 木	
6 金	↑ 第2500地区大会(北海道：網走) 出席
7 土	↓
8 日	
9 月	体育の日
10 火	G公式訪問 (南陽東)
11 水	
12 木	
13 金	
14 土	↑ 第2530地区大会(福島：白河) 出席 米山奨学交流会(寒河江)
15 日	↓ 米山奨学生募集締め切り 第6ブロックIM
16 月	
17 火	
18 水	
19 木	G公式訪問 (南陽)
20 金	G公式訪問 (米沢中央)
21 土	第4ブロックIM 鶴岡東RC30周年記念式典
22 日	
23 月	G公式訪問 (米沢おしょうしな)
24 火	G公式訪問 (酒田スワン)
25 水	G公式訪問 (長井中央)
26 木	
27 金	
28 土	
29 日	③青少年交換小委員会 (鶴岡)
30 月	G公式訪問 (東根中央)
31 火	
11/1 水	G公式訪問 (西川月山)
2 木	
3 金	文化の日
4 土	
5 日	第1ブロックIM
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	



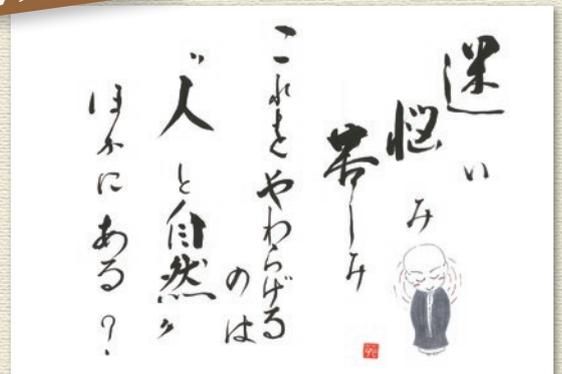
寒河江まつり 寒河江八幡宮流鏝馬奉納 (山形県指定無形民俗文化財)

武者姿の射手が疾走する馬上からの的を射抜く、鎌倉武士の勇壮さを現在に継承する伝統武芸。通称『寒河江の馬走り』と呼ばれる神事です。

古式流鏝馬は疾走する馬上から、3つの的を射る勇壮な流鏝馬。

作試し流鏝馬は予め早稲(わせ)、中稲(なかて)、晩稲(おくて)を決めた馬を走らせ、その順位で翌年の豊凶を占うという珍しい流鏝馬。

今月の言葉



Rotary



◇ガバナー事務所

〒991-0041 寒河江市寒河江鷹ノ巣7番地
TEL: 0237-85-1882 FAX: 0237-85-1883
E-mail: ri2800suzuki@helen.ocn.ne.jp

◇地区事務所

〒994-0034 天童市本町2-1-31 天童セントラルホテル2F
TEL: 023-687-0208 FAX: 023-687-0209
E-mail: ri2800@muse.ocn.ne.jp

◇ホームページ

国際ロータリー山形 検索 
<http://www.rid2800.jp>

